

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 鞘ヶ谷 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
運動に関しては、運動やスポーツをすることが好きと答える児童が増加している。また、週に420分以上運動する児童も増えてきている。体育の授業に関しては、楽しいと答える児童が90%を超えており、その理由として「いろいろな種目を体験できる。」「できないことができるようになるから。」「友達や先生、親にほめられて嬉しいから。」と答える児童が多かった。また、「自分のペースですることができたらより楽しくなる。」と答える児童が多く、個別の場づくり等の必要性が分かった。生活習慣に関しては、朝食をとらない児童の増加やスマホやゲームをする時間が長い児童が多い傾向であることが分かった。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

児童に「できる楽しさ」を味わわせるために、体育科学習における友達同士の学び合いを充実させるとともに、ICTを活用して一人一人が自分の課題に応じて主体的に学習に取り組めるように、指導の工夫・改善を行い、より効果的な指導法について全職員で共通理解を図る。また、コロナ禍で体力面での低下が見られるため、準備運動も含め、1単位時間内の運動量を適切に確保することや休み時間の外遊びの推奨を図る。
--

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

「新体力テストチャレンジウィーク」や「なわとびチャレンジタイム」、「なわとび集会に向けての練習（縦割り活動）」、「さやっ子マラソン（持久走）に向けた元気タイム」を学期ごとに実施し、体力向上の取組を年間を通じて実施する。また、スマホ・携帯及びSNS、ゲーム等の適正利用について、学校だより等で啓発をする。
